

第 1 検討部会 会議録

会議の名称	第 11 回 第 1 検討部会
開催日時	平成 20 年 1 月 18 日（金）午後 6 時 07 分から 9 時 00 分
開催場所	川口市職員会館 会議室
出席者	（部会長）金井副委員長 （副部会長） 金子委員、神尾委員 （委員）落合委員、林委員
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・榎原氏（元川口市職員労働組合執行委員長）へのインタビュー ・条例に盛り込む事項について ・荒川船上研修について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・条例に盛り込むべき項目について（各委員提出資料）
発言内容	<p>■榎原氏インタビュー ※別添インタビューメモを参照</p> <p>■条例に盛り込むべき項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日クリップ止めでお配りしている資料は自治基本条例に盛り込みたい項目について、みなさんからいただいた宿題です。全員分あるのでしょうか。 ・本日ご欠席の砂沢委員さんと佐藤委員さん以外からは頂いています。 ・提出していない方には市から催促していただきたいと思います。 ・今日この場で議論するのは時間的に無理なので、みなさん読んでいただきたいのと、野村総研さんのほうで一覧表などの形で皆さんのアイデアが分かるよう、整理してもらえればと思います。 ・2 月の予定ですが、次回は元川口市財政部長、次々回は元川口市政策審議監（川口の政策決定について）へのインタビューを予定しています。 ・また川口市の政治権力構造に関する分析の著作のある古城先生へのインタビューですが、先生の都合上 3 月 28 日にしたいと思います。いかがでしょうか。 <p>→全員異議なく了承する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 月中に条例に盛り込む項目のアイデア出しをするのであれば、その時間が必要ですし、3 月はじめの日程の候補日を今決めましょうか。今日は欠席委員が多いので、候補日だけでも決めておくようにしましょう。

- ・第1候補を3月7日（金）、第2候補を17日（月）にすることで了承
- ・先行自治体の自治基本条例の事例を勉強したいという話が以前からありますが、その時間はどうしますか。部会のどこかで時間を取るという方法、別の日を取る方法、各自で勉強しておくという方法などありますが。
- ・できれば、本日頂いた皆さんの宿題を野村総研さんで整理する際に他市のものを参照できるようにしておいてもらえますか。
- ・落合委員さんの案が他市を参照されているようですが。
- ・落合委員さんのものを見るとある程度他市のものも理解できるかと思えます。
- ・私のものがどこまで参考になるか分かりませんが、川崎市及び札幌市のものを主として参照して、盛り込みたい項目を自分なりに考えてみました。他市のものを見ると、非常に特徴のでているものがありますし、住民投票など一部分のみ詳しいという例もありますが、どこまで参考にするのか難しいところです。
- ・個人的には1970年の川崎市都市憲章条例案が面白いと思います。
- ・実際の条例にはならなかったものなので、入手しにくい資料ではありますが、入手するようにします。
- ・なお、先行自治体の条例は、インターネットで調べやすいですし、時々業界で本が出ていますし、部会の資料では大和市など4市の事例を見ることができます。
- ・直接インターネットで、先行する他市町の自治基本条例を引き出して見ることは可能ですね。
- ・大和市やニセコ町などでは、本を出しております。
- ・大和市では市長が変わってから自治基本条例の存続が危ぶまれているという話です。
- ・自治基本条例は、市長次第で廃止されるものなのですか。
- ・条例ですので、条例廃止案が議会で可決されれば、当然廃止はありえます。
- ・ただし、単なる計画と違って、条例を無視するわけにはいかないのです。

廃止するなら廃止することを公に議決しないといけません。計画ならば無視をして誰も何も言わなければ、いつの間にか忘れられてしまいますが。

- ・それでは、先行自治体の勉強会は特には行わないということといたしますが、あえて必要ということであれば機会を設けたほうがいいでしょうし、興味があり時間があるのなら策定に携わった方をお呼びするという事も考えられますが、勉強会の件は、ひとまずここまでにしましょう。

■荒川船上研修について

- ・林委員さんから荒川の船上研修について案内があります。
- ・運営調整部会（以下、調整部会）で神尾副部長さんからご説明してもらったために資料を作成してもらいました。

（案内を説明する）

- ・以上の説明に対して、委員の皆さんからご質問等ありますでしょうか。一応、調整部会に持って行っていただくために紙にさせていただいたわけですが、両副部長にお手間をかけますが、よろしくお願いします。
- ・これはこの自治基本条例の委員会の正式な活動ではない形ですよ。
- ・正式な委員会の一環にしないほうが、柔軟に催行しやすいと思います。
- ・個人的には自治基本条例の策定との関連がよくわからないのですが、任意の参加であれば、異議はありません。
- ・各委員には船上研修の意義をよく説明したほうがよいと思います。
- ・意義については3点書いております。鋳物産業と荒川とのかかわりがあるという点、川口の景観を俯瞰的に見ることで陸からとは違った面で見ることができる点、近隣の自治体と比較することで川口市を見直すことができる点です。それと5部会の委員の親睦を図ることができればと考えております。
- ・正式な委員会活動ということになれば、なぜこの船上研修が必要なのか委員によく説明しないといけませんし、市民から物見遊山と見られないように意義と公益性を説明できないといけません。また、公費の支出や職員の勤務上の参加、事故の際の補償ということも生じてきます。
- ・非公式の活動ということになれば、林委員が個人的に発案し、他の方々

が個人的に参加することになります。この場合には、検討委員会委員以外の方も参加できます。他方、市職員の方は休暇を取らないといけません。

- ・これは第1検討部会の総意として提案するのでしょうか。
- ・第1部会の総意という形ではありません。
- ・本来であれば林委員さんが調整部会で発言されたほうがよいのですが、調整部会はメンバーが限られていますので、そうできません。そこで、調整部会のメンバーである神尾・金子両副会長に代わりにご発言をお願いしたいところなのです。正規の調整部会を一端閉じたうえで、非公式の調整部会懇談会で提案するという方法もありますが、この説明の仕方の方は立石委員長にお任せするということでよろしいですか。

→全員異議なく了承する

- ・林委員が作成された案内紙を各部会にまわしていただくという形でもよいかもしれません。
- ・いずれにしても、立石委員長の意向を確認します。
- ・個人的には、船上視察もいいですが、まち歩き、タウンウォッチングという企画もいいかなと思います。神尾副会長からこんなアイデアもあるとご発言いただいてもいいかもしれません。
- ・現地を見るということではいろんなことが見えてくると思います。
- ・市民の方でも意外と見ているようで見ていないところがあるかもしれません。
- ・それでは、調整部会でこの案内文を配付するという事で両副会長さんよろしくお願いします。
- ・ちなみに、最小催行人数というものがありますか。
- ・わざわざ船を出して頂きますし、20人くらいはいないと、とは思いますが。
- ・やるとなったらある程度の人数がいらないといけないわけですね。
- ・夏休みと書いてありますが、働いている方の夏休みはお盆休みになりますし、平日だとお仕事されている方の参加は厳しいかもしれませんね。

	<ul style="list-style-type: none"> ・あえて夏休みという表現ではないほうがいいかもしれませんね。 ・委員会の正式な活動ではないということにする場合、案内紙のタイトルをもう少し柔らかい表現にしたほうがよいかもしれません。 ・それでは、案内紙の表現は修正していただきたいと思います。 ・当面次回の調整部会で案内の紙を紹介してもらおうということにしたいと思います。正規の調整部会の中でお諮りするのかわ、調整部会を閉じてから案内するのかわどうかについては、市から立石委員長に相談しておいてください。 ・それでは本日も時間を超過してしまいましたが、以上で部会を閉じたいと思います。 <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>次回以降日程</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は1月24日18時から、次々回は2月8日18時から。